

地域に愛される公民館づくりを目指して ～講座企画の工夫を通して～

長崎市東公民館

1 はじめに

東公民館では、地域住民が「つどい」「まなぶ」「むすぶ」ことを促進していくために、利用者のニーズの把握や業務の効率化を意識し、それぞれの職員が知恵を出し合いながら、創意工夫して公民館運営に携わっている。

本年度の研究を進めるにあたっては、研究主題を昨年と同様に「地域に愛される公民館づくりを目指して」と設定し、研究の継続化、日常化を図っていく。さらに、副主題を「講座企画の工夫を通して」とし、受講者アンケート等の意見を踏まえた新たな講座開設や既存の講座内容の見直しを積極的に実施していくことで、利用者の興味関心を高め、主題に迫りたい。

2 運営内容

(1) 受講者アンケート等から企画した講座

①「男性のための身体整うエイジレス体操」

昨年度の「身体整うエイジレス体操」のアンケートに、受講者に女性が多いため参加しづらいとの男性の声があった。そこで、今年度の春と秋の講座で男性だけに限定して実施した。参加者には大変好評であった。ただ、受講者人数が伸びなかったため男性限定は今年度のみの実施とし、来年度は成人対象として実施する。



②「はじめてのヨガ」

受講者のアンケートからヨガについて興味を持っている方が多いことが分かった。そこで、一般利用でヨガを学んでいるグループの講師に相談し、主催講座としての実施を依頼した。秋の講座からの実施となったが、応募者多数のため、冬の特別講座でも実施した。さらに、来年度春の講座でも実施する。



③「薬膳教室」

受講者アンケートに、薬膳について学びたいという要望がいくつも上がっていた。そこで、講師発掘のために他の公民館で実施されていた薬膳の講座を受講し、講座の内容を確認した。その後、講師として依頼し、今年度は冬の特別講座での実施を試みた。また、多くの年代に受講者を拡大するため土曜日の企画とした。応募者多数だったため、来年度春の講座でも実施する。今後はさらに内容を充実させ、回数を増やしていきたい。



④「LINEからはじめるスマホ講座」

NPO法人まちラボと生涯学習企画課の協働事業を秋の講座で実施した。大変好評で今後も継続を望む声が多かったが、協働事業は今年度までで終了することとなった。そこで、講師についての情報を他の公民館から収集し、検討した結果、来年度は新たな講師で実施することになった。



(2) 受講実態から企画変更した講座

①「季節の寄せ植え」

3年間、人気の園芸の講座で「天然素材を使ったかご作り」を実施していたが、何度も受講する方も多く、新規の受講者が減ってきていた。そのため、講師と相談し、来年度の春の講座では園芸講座として「季節の寄せ植え」を実施することにした。さらに、秋の講座では新たな内容の園芸講座を実施する予定である。



写真は令和5年度の寄せ植え講座の様子

②「ゆったりハンドメイド」

毎年、レジンという材料を使った小物作りや、クラフトBOX作りを開催していた。毎回少しずつ内容を変えるものの、材料費や時間など、公民館講座でできる内容には限りがある。そのため、講師と相談し、さまざまな小物作りに柔軟に対応できる講座の名称に変更した。



③「英会話ファーストステップ(小学3～4年生対象)」

小学1～2年生を対象とした英会話の講座を3年間実施してきたが、年々参加者が減少していた。原因は、他の習い事と時間が重なっていること、保護者同伴であることと考えられた。さらに、小学1年生保護者への周知が、春は入学前後、秋は夏休みということもあり、徹底が困難であった。保護者への一斉メール(tetoru)も効果はなかった。そこで、来年度は対象を小学3～4年生に変更し、保護者同伴を無くし、小学校を通して早い時期に周知することにした。本格的に英語科の授業が始まる学年での講座活用を期待している。



写真は1～2年生対象の講座の様子

(3) 講師交代により企画変更した講座

①「レベルアップウォーキング～効果的な歩きを～」

長年、朝霧山の会の御協力のもと「登山の初歩」を実施していたが、諸般の事情により今年度までで終了することになった。外歩きなど館外で活動する講座は人気が高いことから、新しい講座を企画した。座学も取り入れた効果的な歩き方を学ぶ講座を開設することとした。

- ・ウォーキングあれこれ
- ・平坦な道(約7km)
- ・高低差のある道(約5km)

②「元氣かばい!」

長年、60歳以上を対象に、心身ともに健康に過ごしてもらうために、体操やお笑い講話などの様々な内容を網羅した講座を開催している。ただ、中には、諸般の事情で変更せざるを得ないものがあり、今年度はコーラスの講師を変更した。来年度は、再びコーラスの講師の変更とレクリエーション協会の御協力による講師派遣を活用する。



(4) 応募して実施できた講座

①「アウトリーチコンサート」(特別講座)

4年ぶりの実施となった。今回は、小さな子どもも入場して家族で楽しめる内容にし、日頃はコンサートを楽しむ機会が少ない年代も参加しやすいものとした。授乳室も用意した。和やかな雰囲気、本格的な演奏を皆が楽しむことができた。



②「魚の美味しいおろし方」(特別講座)

3年ぶりの実施であった。今回は、対象を小学生の親子に限定したものだった。大人でも初めて経験する方もおり、楽しい学びができた。



3 成果と課題

(1) 成果

受講者アンケート等から地域の方々のニーズを知り、講師との協議および新たな講師の発掘を行い、新たな講座を複数開設した。その結果、応募者数の増加につながった。また、見本の展示や、チラシ等による情報提供など広報の充実に努め、受講者の興味関心を高めることができた。

(2) 課題

講座の実施状況や諸般の事情により終了した講座もある。また、夏休み以外の子ども向け講座については、受講申し込みが少ない傾向がある。今後も、受講者のニーズの把握や広報活動の工夫、講師の発掘など、創意工夫して講座企画を行っていきたい。

4 おわりに

今後も、社会教育を推進する東長崎地区の拠点施設として中心的な役割を果たし、利用者の視点に立ちながら、地域に愛される東公民館となるよう、運営や取組等を工夫していきたい。